

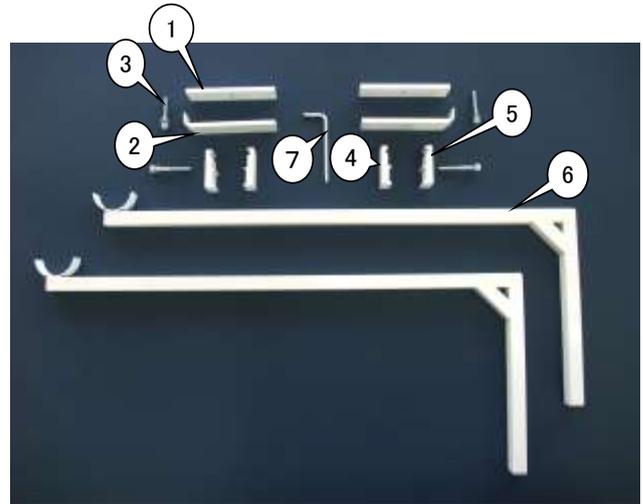
取扱い説明書

* 「干す蔵」を取り付ける前の確認事項

①～⑥の部品が右の写真のように2個ずつはいつているか確認してください。

カーテンレールの締め付けボルトが緩んでないか確認して下さい。緩んでいたらしっかり固定して下さい。

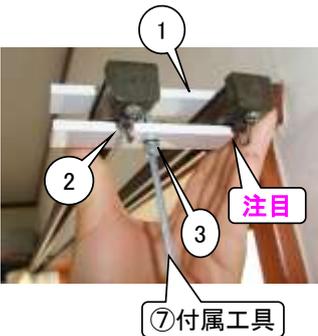
*** 「干す蔵」はカーテンレールが2本タイプのもの専用です。**



* 「部品一覧」

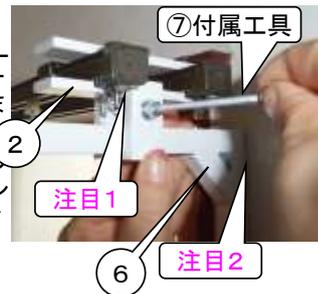
① 平板	2枚
② L型の板	2枚
③ ねじ	4本
④ 固定具 (ねじ穴があいてる)	2個
⑤ 固定具 (穴だけあいてる)	2個
⑥ 本体	2本
⑦ ねじ締め付け工具	1本(ねじを締め付けるのに お使い下さい)

* 付属の長さ4cmの一番長いねじは丸棒のカーテンレール用に手順1で使う③のねじの変わりにご使用ください。



手順 1

左の写真のように平板①を上にしてL型の板②を下にしてカーテンレールをはさんで③のねじで固定します。このとき写真の注目のように②の部品の曲がった部分をカーテンレールに押し当てるように密着させてください。



手順 3

手順2で組み合わせた④と⑤の溝A(細い)で②の板を溝Bで本体を一緒にはさんで写真のように固定します。注目1のように④と⑤はレールにつけて⑥の本体は注目2のように壁面に押し当てるように密着させて取り付けてください。



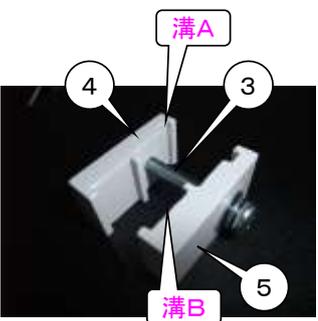
手順1出来上がり

手順1でつけた後がこの状態です。ねじが緩んでないか確認して下さい。注目のようにL型の曲った部分がカーテンレールに密着しているかも確認してください。



完成

これが取り付けが完成したものです。最後にもう一度ねじのゆるみがないか、部品ががたつかずに固定されているかを確認下さい。



手順 2

左の写真のように④⑤の部品の溝部をむき合わせて③のねじで少しだけ組み合わせておきます。先に⑤固定具(穴だけあいてる)をはめてから④固定具(ねじ穴があいてる)をつける。



こんな使い方も出来ます

注目3のようなS字金具を別で用意すれば背の高い場所でも使用できます。

『干す蔵』がなぜこんなに干せるのか？

⑦のアーム本体のL型の部分が[注目2]のように窓枠、柱、壁などの建築構造物に当接することから、アーム先端の負荷が当接部によって建築構造物を押し力となりカーテンレールに加わるモーメント荷重は建築構造物から当接部への効力によって打ち消される。

このため、カーテンレールにモーメント過重が加わることがない。また物干し竿支持具全体に加わる垂直荷重については本体が建築構造物に当接していることから接触抵抗として分散され垂直荷重がカーテンレールに加わらないように設計してあります。

* 取扱い注意事項

- ・干す蔵は物干しなのでぶら下がったり、物干しの用途以外に使用しないでください。ケガをしたり、製品を破損する恐れがあります。
- ・片寄ったものの掛け方はしないでください。
- ・耐荷重は測定値であり、保障値ではありません。
- ・洗濯物を取り外すときは、無理に引っ張ったりしないでください。

「製造元」 [日本製]
 (有)名古屋鉄工所
 〒505-0051
 美濃加茂市加茂野町鷹ノ巣1887-1
 TEL.0574-25-8007 fax 0574-25-8363